

医学部医学科 皮膚科学講座

研究テーマ：アトピー性皮膚炎の悪化における脂質抗原の関与および新食品の検討
キーワード：アトピー性皮膚炎、脂質抗原、新食品

予測される技術成果・効果：
 アトピー性皮膚炎の悪化における食物
 中脂質抗原の関与の解明



事業化が期待できる分野：
 脂質抗原を除去した新食品の開発

<p>概要</p> <p>アトピー性皮膚炎の悪化における食物中脂質抗原の関与を検討し、脂質抗原を含まない新食品を開発する。</p>		<p>ふりがな 名前 植西 敏浩 (うえにしとしあき) 職名 講師</p> <p>主な経歴： 医学博士（滋賀医科大学） 所属学会： 日本皮膚科学会（専門医）</p>
--	--	---

■ 内容

我々は、皮膚炎の不定期的な悪化を示す成人アトピー性皮膚炎患者の44%および皮膚炎の不定期的悪化を示す小児アトピー性皮膚炎患者の75%において、食物が皮膚炎の悪化に関与していることを明らかにした。悪化食品は、チョコレート、コーヒーなどの豆製品、チーズ、納豆などの発酵食品であるが、これらの食物に含まれるどの成分が責任抗原であるのかは明らかでない。本研究では、チョコレート、チーズに含まれる脂質抗原を用いた貼付試験、投与試験を実施し、皮膚炎悪化における脂質抗原の関与を検討する。本症における食品中の脂質抗原の関与を検討した報告は見当たらず、本研究は極めて新規的であると考えられる。本研究の結果に基づいて、脂質抗原を減量したチョコレート、チーズあるいは脂質抗原を含まないチョコレート、チーズを開発できれば、それらの食品は本症患者にとって画期的なものとなり、本症の治療を行っていく上でも非常に有益であると思われる。本症患者の数は極めて多く、従来の治療に加えて新食品を取り入れることは、本症患者に多大な利益をもたらすと考えられる。

Uenishi T et al. J Dermatol 35:407-412 (2008)

Uenishi T et al. J Dermatol 30:91-97 (2003)

特許・共同研究等の状況	
希望する連携形態	共同研究 受託研究 その他
希望提携業種	食品製造、販売関連企業